

## 第64回 セメント技術大会 / 講演募集のお知らせ

講演申込ならびに講演要旨原稿の提出締切：2010年2月19日（金）

社団法人 セメント協会

第64回(2010年度)セメント技術大会の発表講演を下記要領により募集いたします。

本大会がセメント・コンクリート技術に関する活発な討論の場となりますよう奮ってご応募ください。

第64回では、基調講演としてスイス ローザンヌ工科大学のKaren Scrivener先生をお招きし、画像解析を用いた先端分析技術に関して講演していただく予定です。基調講演に引き続き英語による特別セッション「先端分析技術とそのセメント・コンクリート分野への応用」を企画中です。日本語解説も計画中です。この企画に関連し、新たに講演分類として「分析技術」を設け講演を募集します。

この企画では、近年発達が著しい先端分析技術を集中しご紹介いただき、セメント・コンクリート分野での定量分析への応用などに関して、Scrivener先生にも参加いただく討論を予定しております。研究者、診断・補修に関わる実務者双方にとって貴重な情報交換の場となるものと期待しております。

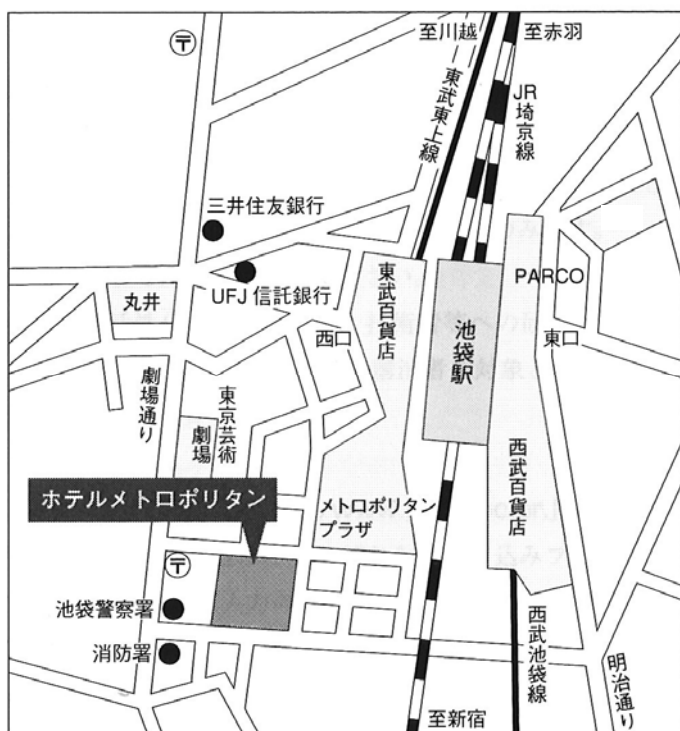
研究の主目的が分析技術の開発ではない場合が多いとも考えられますが、この分野でも奮ってご応募ください。なお、基調講演に続く特別セッションは英語での発表となりますが、日本語でのお申し込みでは別のセッションを構成いたしますのでご了承ください。

講演申込ならびに講演要旨原稿の提出締切が同時期となりましたので、お間違いのないよう、お願いします。

### 第64回セメント技術大会

期 日 2010年5月25日(火)、26日(水)、27日(木)の3日間

会 場 ホテルメトロポリタン  
(東京都豊島区西池袋 1-6-1)



《交通のご案内》

池袋駅西口から徒歩約3分

|       |           |
|-------|-----------|
| J R   | 山手線，埼京線   |
| 東京メトロ | 丸の内線，有楽町線 |
| 西武    | 池袋線       |
| 東武    | 東上線       |

## <講演募集要領>

### 1. セメント技術大会の目的

- (1) セメント・コンクリートに関する技術・研究の成果を発表する場とし、セメント製造およびセメント・コンクリートの材料科学に関する技術情報の発信および交換に重きを置く。
- (2) セメント・コンクリートに携わる研究者に技術開発への意識を高揚させ、さらなる活性化を図る。
- (3) セメント産業としての社会貢献への取組みを広くアピールする場とする。

### 2. 講演の申込み

- (1) 講演内容と範囲：
  - (a) セメント・コンクリートに関する最近の調査，試験，研究等の成果で，未発表のものに限ります。ただし口答発表のみが行われているものは，未発表とみなします。
  - (b) 当大会の目的に沿わないものはお断りする場合があります。
  - (c) 宣伝性の強いものはお断りする場合があります。
- (2) 当協会は，特許庁より特許法第 30 条第 1 項(実用新案法第 11 条第 1 項において準用する場合を含む)の規定に基づく学術団体に指定されております。
- (3) 講演日，講演会場，講演時間等は後日通知いたします。
- (4) 1 講演当りの共同研究者(連名者)数は，講演者を含めて 4 名以内です。
- (5) 申込み可能講演数は，講演者 1 名につき 2 講演以内といたします。ただし共同研究者(連名者)となることについては制限いたしません。
- (6) 講演用機材は，パーソナルコンピュータ+液晶プロジェクタのみといたします。  
(注) 使用可能アプリケーションは Microsoft Power Point のみです。
- (7) セメント技術大会全体の活性化と若手研究者・技術者等への研究奨励のため，優秀な講演者を表彰いたします(2010 年 4 月 1 日時点で 35 歳以下の講演者が対象です)。
- (8) 本大会は「土木学会認定 CPD プログラム」です。
- (9) 申込み方法：

セメント協会ホームページ URL <http://www.jcassoc.or.jp/> (イベント・募集 イベント セメント技術大会)をご覧ください，講演申込みのページから講演申込みファイル(Microsoft Excel 形式)をダウンロードして必要事項をすべてご入力の上，**講演要旨原稿と共に** 5. 連絡・問合せ先に E-mail の添付ファイルとしてご送信ください。

講演申込みのための必要事項は以下のとおりです。

  - (a) 講演内容を具体的に表した和文または英文による講演題目
  - (b) 希望する講演申込み番号(最終ページの表参照)
  - (c) 講演者名・年齢(2010 年 4 月 1 日時点)
  - (d) 共同研究者(講演者も含む)の氏名・フリガナ・勤務先・役職名
  - (e) キーワード(和文または英文，8 語以内)
  - (f) 講演の概要(和文；100 字程度，または英文；30 語程度)
  - (g) 関連講演の有無
  - (h) 「セメント協会研究奨励金」交付対象研究との関連の有無
  - (i) 連絡先

注：1 個人情報の保護について

お預かりいたしました個人情報につきましては、当協会ホームページに掲載しております「個人情報保護方針」および「個人情報の取り扱いについて」に基づき、安全かつ適正に管理させていただきます。

2 ご記入いただきました講演申込み番号を基にプログラム編成を行います。ただし、プログラムの編成上、必ずしもご希望に添えない場合がございます。あらかじめご了承ください。

3 E-mail で申込みができない方は、5.連絡・問合せ先までお問い合わせください。

(10) その他：講演申込み料，参加費等は一切不要です。

(11) **講演申込み後の講演題目の変更は認めません。ご注意願います。**

(12) **講演取消は、プログラム編成上支障をきたしますので堅くお断りします。**

### 3. セメント技術大会講演要旨

(1) 講演申込み者はすべて講演要旨原稿を執筆して4. 連絡・問合せ先にご提出ください。

(2) 講演要旨の原稿は次のように作成していただきます。詳細は執筆要領をご参照ください。

(a) パソコン等を使用してA4判，2段組，2ページに明瞭に仕上げたもので，内容は( )和文または英文題目( )和文または英文の本文( )参考文献( )講演に必要な図・表・写真とします。

(b) 本文は「1.目的 2.方法 3.結果 4.考察 5.結論」等を簡潔に記述してください。

(c) **原稿はワードなどの原稿作成時のファイルおよびPDFファイルの両方とし、講演申込書と共にE-mailで提出してください。**

### 4. **講演申込ならびに講演要旨原稿提出締切：2010年2月19日(金)17時(必着)**

注：講演要旨は2010年5月上旬より販売予定です。

購入方法等につきましては、後日お知らせいたします。

### 5. 連絡・問合せ先

社団法人 セメント協会 研究所 技術情報グループ

「第64回セメント技術大会係」

〒114-0003 東京都北区豊島4丁目17番33号

TEL 03-3914-2692

E-mail jcapi@jcassoc.or.jp

希望する講演申込み番号(1～42のいずれか)を下表より選び、講演申込書にご記入ください  
(第1希望および第2希望を記入)。

表 講演分類と講演申込み番号

| 大分類          | 中分類              | 小分類                | 講演申込み<br>番号 |
|--------------|------------------|--------------------|-------------|
| セメント         | 製造               | 原料                 | 1           |
|              |                  | 製造技術               | 2           |
|              | クリンカー鉱物          |                    | 3           |
|              | 種々のセメント          | 混合セメント             | 4           |
|              |                  | 混合材                | 5           |
|              |                  | 特殊セメント             | 6           |
|              |                  | その他                | 7           |
|              | セメント系新材料         |                    | 8           |
|              | セメント系固化材         |                    | 9           |
|              | セメント系補修材         |                    | 10          |
|              | セメントの水和          |                    | 11          |
|              | セメント, モルタルの性質と物性 |                    | 12          |
| コンクリート       | 材料               | 化学混和剤              | 13          |
|              |                  | 骨材                 | 14          |
|              |                  | リサイクル              | 15          |
|              |                  | その他                | 16          |
|              | フレッシュコンクリート      | 流動性                | 17          |
|              |                  | 高流動コンクリート          | 18          |
|              |                  | その他                | 19          |
|              | コンクリートの試験方法      |                    | 20          |
|              | コンクリート製品         |                    | 21          |
|              | コンクリートの施工        |                    | 22          |
|              | コンクリート舗装         |                    | 23          |
|              | 特殊コンクリート         | 高強度コンクリート          | 24          |
|              |                  | 繊維補強コンクリート         | 25          |
|              |                  | ポーラスコンクリート         | 26          |
|              |                  | マスコンクリート・低発熱コンクリート | 27          |
|              |                  | 景観コンクリート           | 28          |
|              |                  | その他                | 29          |
|              | 物性               | 膨張                 | 30          |
|              |                  | 収縮                 | 31          |
|              |                  | ひびわれ               | 32          |
|              |                  | クリープ               | 33          |
|              |                  | その他                | 34          |
|              | 耐久性              | 塩害・鋼材腐食            | 35          |
|              |                  | 中性化                | 36          |
|              |                  | A S R              | 37          |
|              |                  | 化学的侵食・溶脱           | 38          |
|              |                  | 凍結融解               | 39          |
| その他          |                  | 40                 |             |
| コンクリートの診断・補修 |                  | 41                 |             |
| 分析技術         |                  | 42                 |             |

(以上)